

ごみの戸別収集のモデル地区における試行結果について

1 概要

家庭から出るごみの減量化・資源化の更なる推進や地域包括ケア社会の実現に向けたごみ出し環境の改善を目指し、新たな収集体制を検討するため、令和元年5月から令和2年4月までの1年間、集合住宅や戸建住宅が混在する地区等をモデル地区として、戸別収集（建物ごとに道路に面した敷地内にごみを出し、収集する方法）を試行しました。

2 モデル地区

- (1) 金田地区
- (2) まつかげ台地区
- (3) 小野地区

3 対象のごみ

もえるごみ

※ もえないごみや資源については、現行どおり集積所を使用して収集

4 収集日

- (1) 金田地区・まつかげ台地区：火曜日・金曜日（もえるごみの日）
- (2) 小野地区：月曜日・木曜日（もえるごみの日）

※ 収集日は変更なし

5 もえるごみの収集実績

(1) 年間収集量

地区名	実施前	実施後	前年比
金田	561.3 t	490.8 t	87.4%
まつかげ台	305.8 t	277.1 t	90.6%
小野	249.7 t	210.7 t	84.4%
合計	1,116.8 t	978.6 t	87.6%

(2) 1日平均収集量

地区名	実施前	実施後	前年比
金田	5.4 t	4.8 t	88.3%
まつかげ台	2.9 t	2.7 t	91.5%
小野	2.4 t	2.0 t	81.9%
合計	10.8 t	9.5 t	87.7%

6 市民の意識把握

別紙（戸別収集モデル事業アンケート調査結果）のとおり

戸別収集モデル事業アンケート調査結果

1 アンケート調査の目的

この調査は、令和元年5月から試行しました「もえるごみ」の戸別収集モデル事業におけるモデル地区の皆様を対象に、当該事業の評価や感想をお伺いするため、アンケート調査を実施しました。

戸別収集の有効性や課題を検証するデータとしてまとめ、将来のより良い収集方法の検討を進めるために活用します。

2 アンケート調査期間

令和元年12月24日～令和2年2月19日

3 もえるごみ戸別収集モデル事業アンケート調査回答

地区名	対象世帯数	対象割合	回答数	回答率	回答割合
		全体比		地区別	全体比
小野	432	16.5%	220	50.9%	18.5%
まつかけ台	726	27.7%	428	59.0%	36.0%
金田	1,467	55.9%	533	36.3%	44.8%
無回答	—	—	9	—	0.8%
合計	2,625	100.0%	1,190	45.3%	100.0%

4 実施地区

集合住宅や戸建住宅の分布状況、人口の密集度合いなど、地域の実情に沿って検証する必要性から、実施地区については、金田地区、まつかけ台地区及び小野地区の3地区とし、アンケート調査を実施しました。

5 戸別収集の対象ごみ

「もえるごみ」のみを対象とします。

※ 調査の集計に当たり、「無回答」及び「わからない」を除き、調査結果を取りまとめました。

戸別収集モデル事業のアンケート調査に基づく検証・分析

1 ごみ量の減量について

もえるごみの量については、「減った」・「少し減った」が26%となり、戸別収集が減量に寄与したと考えられる。また、「変わらない」が73%となったが、自宅（家）の敷地内に排出することによる分別意識の向上やごみの出し方への意識が高まり、不適正排出の減少やごみの減量につながったと考えられる。

2 ごみ出し負担の軽減について

集積所収集と比較して、ごみ出しの「負担が減った」が55%となり、「少し負担が減った」を合わせると76%の世帯から戸別収集に対する十分な効果が見られた。これは、戸別収集により、高齢者世帯や障がい者世帯、子育て世帯に限らず、多くの世帯においてごみ出しの負担が軽減されたと考えられる。

3 適正な分別について

分別意識は「変わらない」が51%となる一方、「意識するようになった」・「少し意識するようになった」も48%となった。このことから、元々高い分別意識がある世帯には変化が見られないが、戸別収集による自宅（家）の敷地内に排出することにより、全ての世帯でももえるごみの出し方に対する分別意識が高まったと考えられる。

4 もえるごみを戸別収集、資源を集積所で収集することへの満足度について

満足度についても、「満足している」・「おおむね満足している」で82%となり、住居別でも、特に、集合住宅においても「満足している」・「おおむね満足している」が76%となった。これは、独自の集積所を持たない集合住宅についても、戸別収集する際に敷地内に集積場所を設けたためと考えられる。

5 有料ごみ袋の必要性について

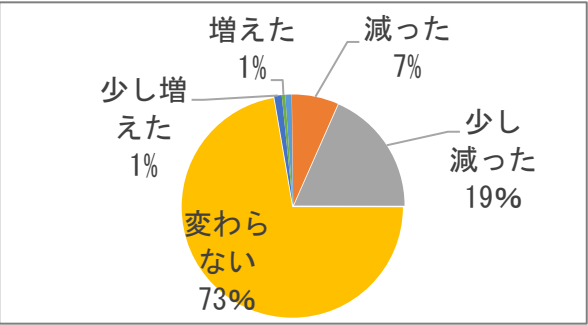
ごみの出す量に応じた負担について、「必要がない」が67%となったが、「必要」も28%あった。28%の世帯は、ごみの減量と資源化の取組として、応分の負担が必要と考えていることが分かった。

6 資源とごみの収集体制について

収集体制については、「満足していない」が15%あったが、61%の方が本市の収集体制に満足していると答えた。「特にない」の19%を合わせると80%の方に不満がないと考えられる。また、地区別では、まっかげ台地区が最も満足している世帯が高い回答となった。

1 戸別収集になって、「もえるごみ」を出す量に変化はありましたか。

- 1)減った 2)少し減った 3)変わらない 4)少し増えた 5)増えた



《回答結果》

- ・出すごみの量について、変わらないが73%、少し減ったが19%、減ったが7%となった。
- ・戸別収集にすることで、26%の世帯がもえるごみを出す量が減少する結果となった。また、集合住宅では、80%が変わらないと答えた。

地区別集計

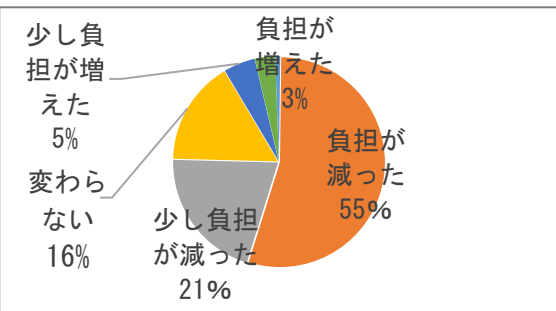
	総数	1)減った	2)少し減った	3)変わらない	4)少し増えた	5)増えた
小野地区	219	19	44	150	6	0
金田地区	528	32	95	393	3	5
まつかげ台地区	424	27	78	314	4	1
合計	1171	78	217	857	13	6
合計%		7%	19%	73%	1%	1%

住居別集計

	総数	1)減った	2)少し減った	3)変わらない	4)少し増えた	5)増えた
戸建て住宅	1087	75	208	788	13	3
	%	7%	19%	72%	1%	0%
集合住宅	70	4	8	56	0	2
	%	6%	11%	80%	0%	3%
合計	1157	79	216	844	13	5

2 集積所での収集と比較して、「もえるごみ」を出す負担は減りましたか。

- 1)負担が減った 2)少し負担が減った 3)変わらない 4)少し負担が増えた 5)負担が増えた



《回答結果》

- ・ごみ出し負担は、減った・少し減ったを合わせた回答が76%となり、変わらないが16%となった。
- ・戸建て住宅での集計結果で負担が減った・少し減ったを合わせた回答が78%となり、戸別収集に対し十分な効果が見られた。
- ・集合住宅でも、住宅に隣接する場所に集積所を設けたため、減った・少し減ったを合わせ、55%の結果となった。

地区別集計

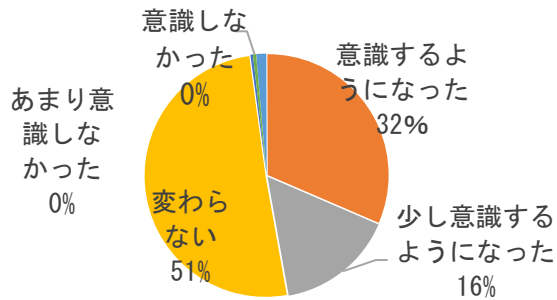
	総数	1)減った	2)少し減った	3)変わらない	4)少し増えた	5)増えた
小野地区	220	109	53	30	14	14
金田地区	528	275	104	105	28	16
まつかげ台地区	425	259	87	56	16	7
合計	1173	643	244	191	58	37
合計%		55%	21%	16%	5%	3%

住居別集計

	総数	1)減った	2)少し減った	3)変わらない	4)少し増えた	5)増えた
戸建て住宅	1088	615	225	160	54	34
	%	57%	21%	15%	5%	3%
集合住宅	70	24	15	26	3	2
	%	34%	21%	37%	4%	3%
合計	1158	639	240	186	57	36

3 戸別収集になって、資源とごみの分別を意識するようになりましたか。

- 1) 分別を意識するようになった 2) 少し意識するようになった 3) 変わらない
4) あまり意識しなかった 5) 意識しなかった



《回答結果》

- ・ 分別の意識は変わらないが51%となり、意識・少し意識するが48%となり、ほぼ半々となった。
- ・ 戸別収集を実施することにより、意識していない世帯等の意識向上につながる結果となった。
- ・ 集合住宅では、変わらないが60%となった。

地区別集計

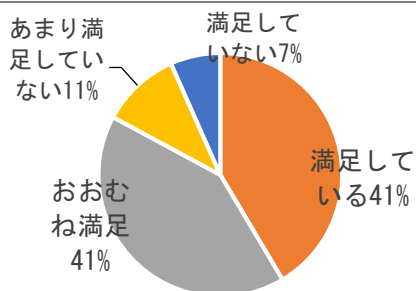
	総数	1) 意識するようになった	2) 少し意識するようになった	3) 変わらない	4) あまり意識しない	5) 意識しない
小野地区	219	66	43	108	2	0
金田地区	526	163	84	274	2	3
まつかげ台地区	421	142	60	217	0	2
合計	1166	371	187	599	4	5
合計%		32%	16%	51%	0%	0%

住居別集計

	総数	1) 意識するようになった	2) 少し意識するようになった	3) 変わらない	4) あまり意識しない	5) 意識しない
戸建て住宅	1083	348	176	552	4	3
	%	32%	16%	51%	0%	0%
集合住宅	70	18	9	42	0	1
	%	26%	13%	60%	0%	1%
合計	1153	366	185	594	4	4

4 資源を集積所、もえるごみを戸別で収集することに満足していますか。

- 1) 満足している 2) おおむね満足している 3) あまり満足していない 4) 満足していない



《回答結果》

- ・ 資源を集積所、もえるごみを戸別での満足度は、おおむね満足と満足が共に41%で、あまり満足していないが11%となった。
- ・ 戸建住宅の満足度は84%の方が満足していたと回答、集合住宅でも76%となり、有効な結果が得られた。

地区別集計

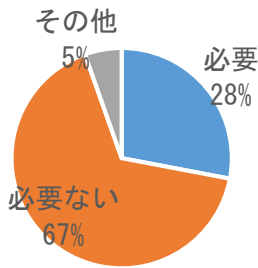
	総数	1) 満足している	2) おおむね満足	3) あまり満足していない	4) 満足していない
小野地区	207	62	95	29	21
金田地区	483	191	206	50	36
まつかげ台地区	395	197	148	35	15
合計	1085	450	449	114	72
合計%		41%	41%	11%	7%

住居別集計

	総数	1) 満足している	2) おおむね満足	3) あまり満足していない	4) 満足していない
戸建て住宅	1006	428	411	105	62
	%	43%	41%	10%	6%
集合住宅	68	22	30	7	9
	%	32%	44%	10%	13%
合計	1074	450	441	112	71

5 ごみ減量と資源化を推進するために、有料の指定袋による、ごみを出す量に応じた負担は必要だと思いますか。(分別の取組により負担が増減する仕組み)

1)必要だと思う 2)必要ないと思う 3)その他



《回答結果》

- ・ごみを出す量に応じた負担について、必要なしが67%、必要が28%となった。
- ・集合住宅では戸建住宅に比べて、必要ないの回答が71%と上がる一方、必要は23%と下がる結果となった。

地区別集計

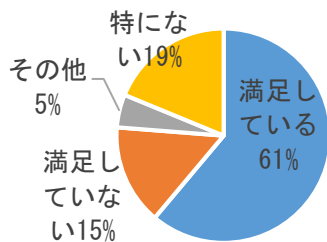
	総数	1)必要	2)必要ない	3)その他
小野地区	205	53	137	15
金田地区	484	126	331	27
まつかげ台地区	383	121	246	16
合計	1072	300	714	58
合計%		28%	67%	5%

住居別集計

	総数	1)必要	2)必要ない	3)その他
戸建て住宅	991	285	655	51
	%	29%	66%	5%
集合住宅	69	16	49	4
	%	23%	71%	6%
合計	1060	301	704	55

6 本市の資源とごみの収集体制について、どのように思いますか。

1)満足している 2)満足していない 3)その他 4)特にない 5)わからない



《回答結果》

- ・本市の収集体制について、満足しているが61%、満足していないが15%となった。
- ・地区別では、まつかげ台地区の満足度が72%となり、3地区で最も高い回答となった。

地区別集計

	総数	1)満足している	2)満足していない	3)その他	4)特にない
小野地区	191	99	34	18	40
金田地区	436	247	75	22	92
まつかげ台地区	358	256	40	9	53
合計	985	602	149	49	185
合計%		61%	15%	5%	19%

住居別集計

	総数	1)満足している	2)満足していない	3)その他	4)特にない
戸建て住宅	910	566	132	45	167
	%	62%	15%	5%	18%
集合住宅	64	30	13	4	17
	%	47%	20%	6%	27%
合計	974	596	145	49	184